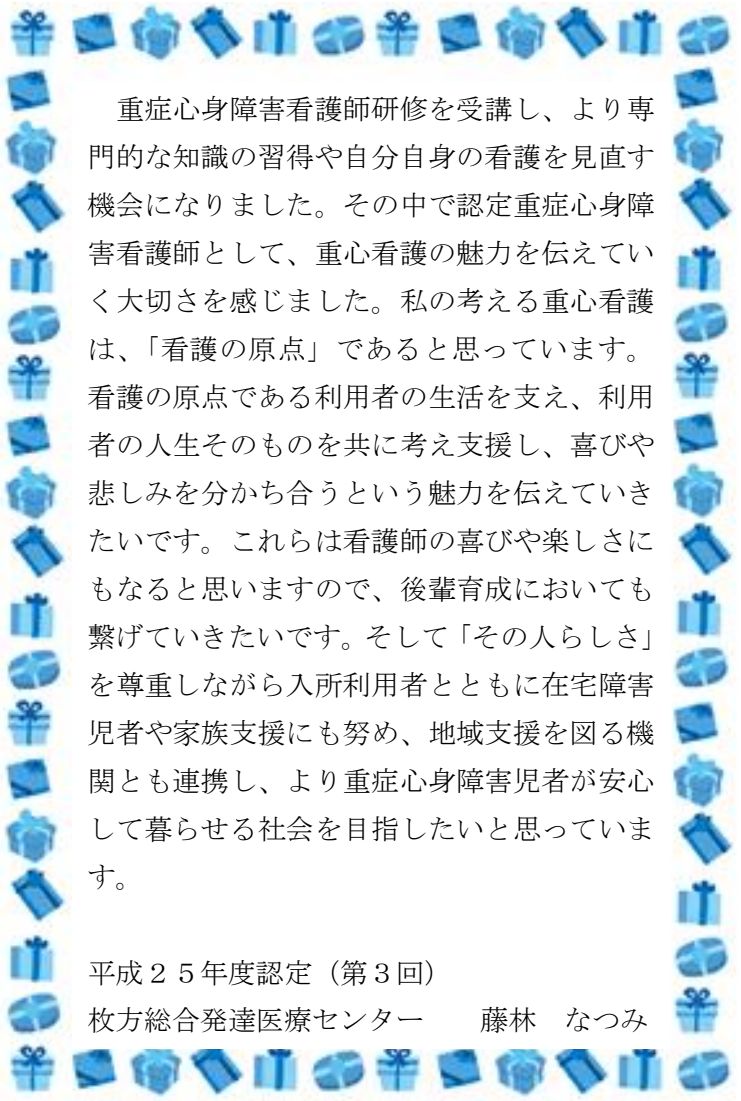


認定重症心身障害看護師からの声

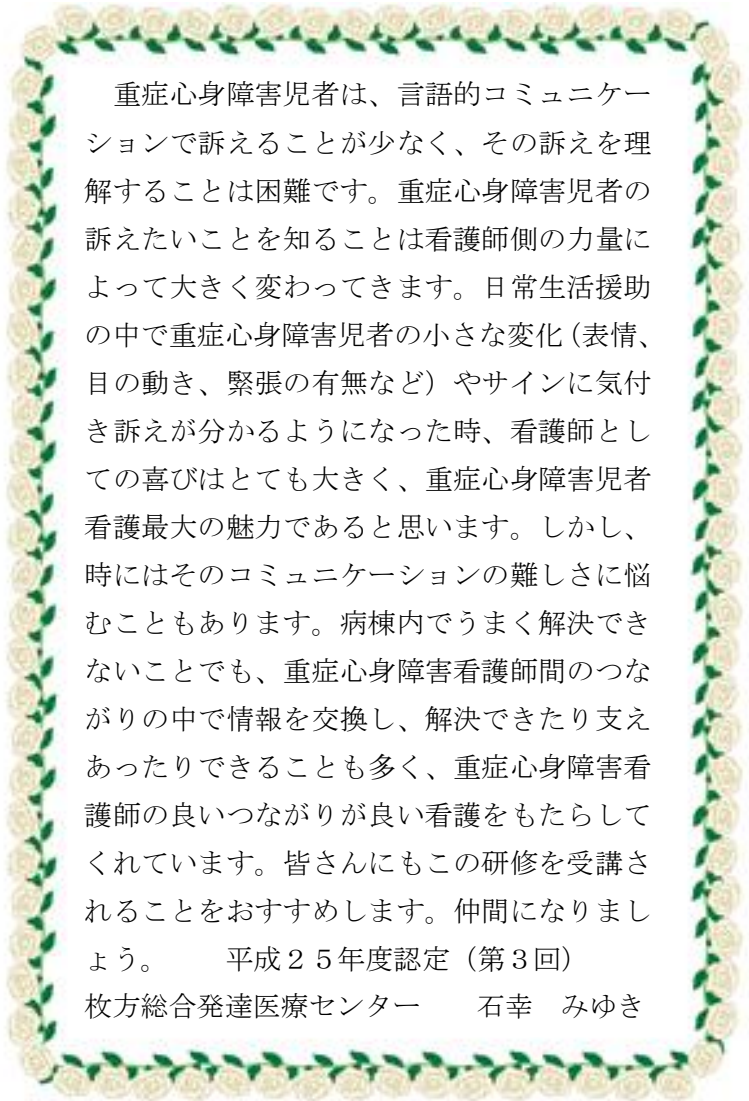
NO 4



重症心身障害看護師研修を受講し、より専門的な知識の習得や自分自身の看護を見直す機会になりました。その中で認定重症心身障害看護師として、重心看護の魅力を伝えていく大切さを感じました。私の考える重心看護は、「看護の原点」であると思っています。看護の原点である利用者の生活を支え、利用者の人生そのものを共に考え支援し、喜びや悲しみを分かち合うという魅力を伝えていきたいです。これらは看護師の喜びや楽しさにもなると思いますので、後輩育成においても繋げていきたいです。そして「その人らしさ」を尊重しながら入所利用者とともに在宅障害児者や家族支援にも努め、地域支援を図る機関とも連携し、より重症心身障害児者が安心して暮らせる社会を目指したいと思っています。

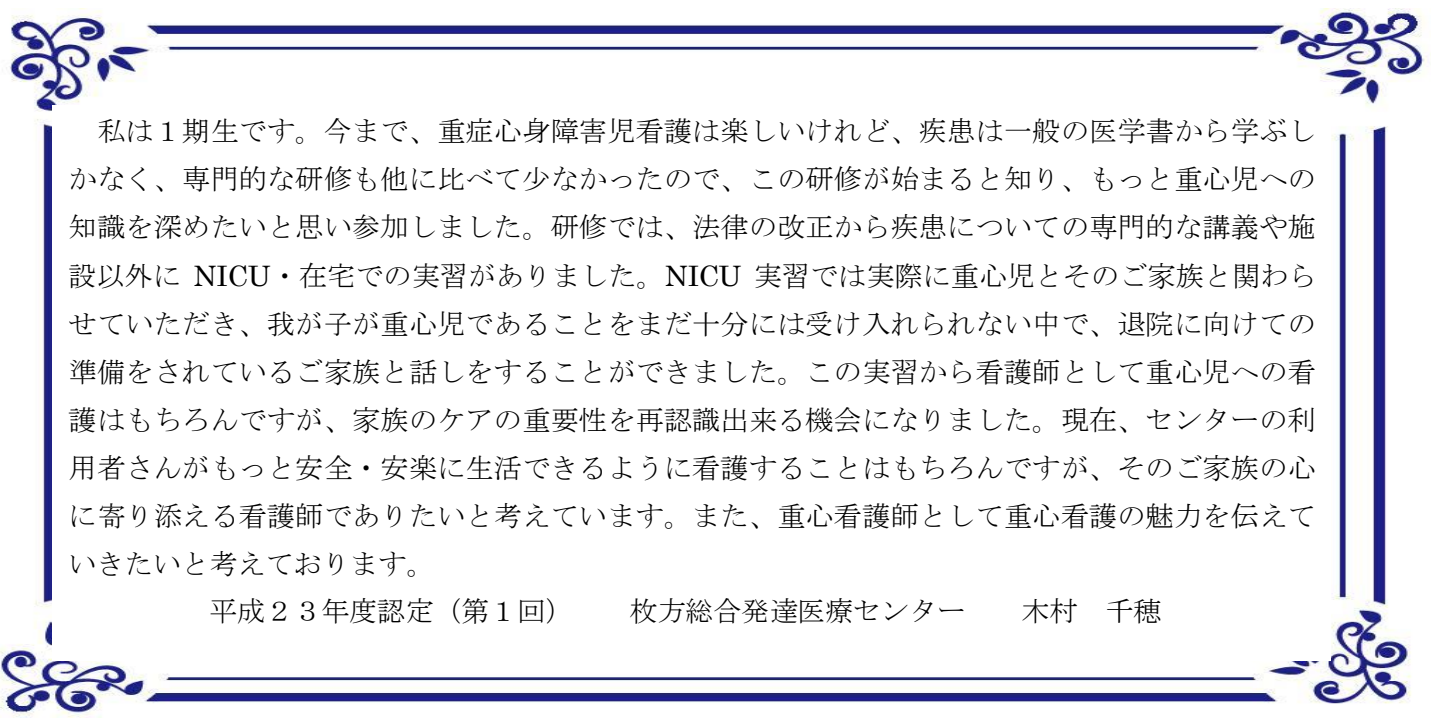
平成25年度認定（第3回）

枚方総合発達医療センター 藤林 なつみ



重症心身障害児者は、言語的コミュニケーションで訴えることが少なく、その訴えを理解することは困難です。重症心身障害児者の訴えたいことを知ることは看護師側の力量によって大きく変わってきます。日常生活援助の中で重症心身障害児者の小さな変化（表情、目の動き、緊張の有無など）やサインに気が付き訴えが分かるようになった時、看護師としての喜びはとても大きく、重症心身障害児者看護最大の魅力であると思います。しかし、時にはそのコミュニケーションの難しさに悩むこともあります。病棟内でうまく解決できないことでも、重症心身障害看護師間のつながりの中で情報を交換し、解決できたり支えあったりできることも多く、重症心身障害看護師の良いつながりが良い看護をもたらしてくれています。皆さんにもこの研修を受講されることをおすすめします。仲間になりましょう。平成25年度認定（第3回）

枚方総合発達医療センター 石幸 みゆき



私は1期生です。今まで、重症心身障害児看護は楽しいけれど、疾患は一般の医学書から学ぶしかなく、専門的な研修も他に比べて少なかったため、この研修が始まると知り、もっと重心児への知識を深めたいと思い参加しました。研修では、法律の改正から疾患についての専門的な講義や施設以外にNICU・在宅での実習がありました。NICU実習では実際に重心児とご家族と関わらせていただき、我が子が重心児であることをまだ十分には受け入れられない中で、退院に向けての準備をされているご家族と話しをすることができました。この実習から看護師として重心児への看護はもちろんですが、家族のケアの重要性を再認識出来る機会になりました。現在、センターの利用者さんがもっと安全・安楽に生活できるように看護することはもちろんですが、そのご家族の心に寄り添える看護師でありたいと考えています。また、重心看護師として重心看護の魅力を伝えていきたいと考えております。

平成23年度認定（第1回）

枚方総合発達医療センター 木村 千穂